

三 外務通譯生ニシテ二年以上在外

公館ニ勤務シタル者

四 四年以上在外公館ノ雇貟タル者

前項ノ外務書記生試験ニ關スル規程

ハ外務大臣之ヲ定ム

附 則

明治三十七年勅令第四十二號ハ之ヲ廢止ス

内閣總理大臣

法制局長官

一 陸軍補充令  
八月改正ス

外務大臣

大藏大臣

五

海軍大臣

六

文部大臣

七

農商務大臣

八

遞信大臣

九

鐵道大臣

十

別紙陸軍大臣請議 陸軍補充令中改  
正ノ件

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ  
通閣議決定セラレ可然ト認ム

三 外務通譯生ニシテ二年以上在外

公館ニ勤務シタル者

四 四年以上在外公館ノ雇貟タル者

前項ノ外務書記生試験ニ關スル規程  
ハ外務大臣之ヲ定ム

附 則

明治三十七年勅令第四十二號ハ之ヲ廢止ス

隆甲三

大正十二年三月三十日

内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣

法制局長官

外務大臣

大藏大臣

五

海軍大臣

六

文部大臣

七

農商務大臣

八

鐵道大臣

九

別紙陸軍大臣請議 陸軍補充令中改  
正ノ件

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ  
通閣議決定セラレ可然ト認ム

# 勅令案

## 呈案附箋ノ通

内閣府

### 參照

#### ●陸軍補充令

明治四十四年十月二十六日

勅令第二百七十號

聖正大正三年第三〇六號、大正四年第一九七

聖正大正六年第九七號

於陸軍補充令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(大正四年第一九七號)

#### 陸軍補充令

##### 第一章 總則

第一條 陸軍將校、同相當官、准士官、下士、憲兵上等兵、看護卒、磨工卒及樂手補ノ補充ニ關シテハ別ニ定ムルモノノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第三條 步、騎、砲、工、輜重兵科現役士官ハ士官候補生、現役特務曹長又ハ現役砲、工兵上等工長ニシテ少尉ニ任セラルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ之ヲ補充ス

憲兵科現役士官ハ他兵科ノ現役士官ニシテ憲兵練習所ナ卒業シタル者又ハ憲兵科現役特務曹長ニシテ少尉ニ任セラルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ之ヲ補充ス

士官候補生ハ陸軍士官學校豫科ナ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

士官候補生ニ充ツヘキ者ハ教育總監之ヲ定メ順序ヲ附シタル名簿ヲ調製シ各配賦名簿ヲ添ヘテ陸軍大臣ニ之ヲ移ス

國立公文書館  
National Archives of Japan

National Archives of Japan

第六條 陸軍大臣ハ前條ノ名簿ニ基キ士官候補生ヲ命シ各隊ニ之ヲ配賦シ概ホ六月間改隊ニ於テ下士兵卒ノ勤務調査事務及之ニ必要ナル軍事學ヲ習得セシム

第七條 士官候補生ハ入隊ノ後直ニ上等兵ノ階級ヲ與ヘ概ネ二月ノ役伍長ノ階級ニ、概ネ四月ノ役軍曹ノ階級ニ進ム

第八條 士官候補生第六條ノ勤務ヲ習得シタルトキハ教育總監ハ陸軍士官學校本科ニ之ヲ入學セシム

第九條 士官候補生陸軍士官學校本科ヲ卒業シ歸隊シタルトキハ曹長ノ階級ニ進メ見習士官ヲ命シ概ネ二月間該隊ニ於テ士官ノ勤務ヲ習得セシム

第十四條ノ二 各兵科少尉候補者ハ實役終年二年以上ノ現役ノ轉務曹長又ハ副、正兵士

等工長中身體強健人格成績共ニ優秀且家庭  
良好ナル者ニシテ職員長官事部長一在リアノ選  
拔シタル者ノ中ヨリ試験ノ上陸軍大臣之ヲ  
定ム

第十五條 經理部現役士官ハ各兵科ノ現役士官ニシテ陸軍經理學校ヲ卒業シタル者又ハ各兵科若ハ經理部ノ准士官下士ニシテ三等主計ニ任セラルルノ資格ヲ異フル

第十六條 經理部士官候補者ルヘキ各兵科士官並三等主計候補者タルヘキ各兵科軍士及經理部ノ准士官下士ノ人員ハ陸軍士官每年之ヲ定ム

卷之三

第十八條「三等主計接捕者八身體而犯人落處

前項ノ試験ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム  
第二十九條 見習醫官又ハ見習藥劑官ヲ衛生  
部士官ト爲スノ可否ハ師團軍醫部所在地ニ  
於ケル當該軍醫部所管一等軍醫以上學一等

薬剤官以上ヲ以テ組織スル衛生部士官銓衡會議ニ於テ之ヲ決ス

學ノ概、學士ト碩士凡コトノ時計表  
外國、醫學校又ハ藥學校ノ年費  
五十兩半以上、學力ノ有无者除其  
科卒年未滿三年以上、醫學士專

ノトス  
ノル者ニ在リナハ二等軍醫又ハ二等藥劑  
官ニ、其ノ仙ノ者ニ在リテハ三等軍醫又ハ  
三等藥劑官ニ任セラルルノ資格ヲ具フルモ

第三十條ノ二 三等看護官候補者ハ實役停年二年以上ノ現役上等看護長中身體強健人格成績共ニ優秀且家庭良好ナル者ニシテ所管軍醫部長<sub>立候補者在リノ  
テハ就任軍醫部長ノ</sub>

選拔シタル者ノ中ヨリ試験ノ上陸軍大臣之ヲ定ム

前項ノ試験ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第三十一條 武醫部現役士官ハ見習武醫官ニ

シテ二等武醫又ハ三等武醫ニ任セラルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第三十二條 見習武醫官ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者マリ之ヲ採用ス

一 大學令ニ依ル大學ノ農學部學生ニシテ

陸軍軍醫部依託學生ト爲リ武醫學部生

メ學士ト稱スルコトヲ得ル者

二 帝國大學農學部武醫學實科生徒又ハ官

立實業專門學校武醫學科生徒ニシテ陸

軍軍醫部依託生徒ト爲リ同學科卒業

シタル者

三 武醫生ダル一年本職兵

前各號ニ該當セサル者ニシテ第一號若

ハ第二號ノ學科ヲ卒業ジタル者又ハ外

國ノ武醫學校卒業シ若ハ陸軍軍醫部准

士官下士ニシテ

四 武醫生ダル一年本職兵

前各號ニ該當セサル者ニシテ第一號若

ハ第二號ノ學科ヲ卒業ジタル者又ハ外

國ノ武醫學校卒業シ若ハ陸軍軍醫部准

士官下士ニシテ

五 武醫生ダル一年本職兵

前各號ニ該當セサル者ニシテ第一號若

ハ第二號ノ學科ヲ卒業ジタル者又ハ外

國ノ武醫學校卒業シ若ハ陸軍軍醫部准

士官下士ニシテ

六 武醫生ダル一年本職兵

前各號ニ該當セサル者ニシテ第一號若

ハ第二號ノ學科ヲ卒業ジタル者又ハ外

國ノ武醫學校卒業シ若ハ陸軍軍醫部准

士官下士ニシテ

七 武醫生ダル一年本職兵

前各號ニ該當セサル者ニシテ第一號若

ハ第二號ノ學科ヲ卒業ジタル者又ハ外

國ノ武醫學校卒業シ若ハ陸軍軍醫部准

士官下士ニシテ

八 武醫生ダル一年本職兵

前各號ニ該當セサル者ニシテ第一號若

ハ第二號ノ學科ヲ卒業ジタル者又ハ外

國ノ武醫學校卒業シ若ハ陸軍軍醫部准

士官下士ニシテ

九 武醫生ダル一年本職兵

前各號ニ該當セサル者ニシテ第一號若

ハ第二號ノ學科ヲ卒業ジタル者又ハ外

國ノ武醫學校卒業シ若ハ陸軍軍醫部准

士官下士ニシテ

十 武醫生ダル一年本職兵

前各號ニ該當セサル者ニシテ第一號若

ハ第二號ノ學科ヲ卒業ジタル者又ハ外

國ノ武醫學校卒業シ若ハ陸軍軍醫部准

士官下士ニシテ

第三十五條 見習武醫官ニシテ左ノ各號ノ一

前ニ該當スル者ハ見習武醫官ヲ免ス

一 軍紀ヲ棄リ若ハ嚴法期ヲ犯シ又ハ品行

不正ニシテ改悛ノ日途ナキ者

二 勇力乏シタルシテ見習武醫官タルム適セ

サル者

三 武醫部士官タルノ才能ニ乏シキ者

四 武醫部士官公衛會議ニ於テ否決シタル者

五 疾病又ハ傷痍ニ依リ現役ノ報役ニ禁ヘ

サル者

六 前各號ニ掲タル者ノ外見習武醫官タル

ヲ得ヘカラスト認メタル者

前項ノ規定ハ依リ下ニテ多出金ノ見習武

醫官ヲ免シタルトキハ第一號ニ該當スル者

ハ原其科ノ一等卒ト爲シ第二號乃至第四號

及第六號ニ該當スル者並第五號ニ該當シ豫

備役後備役ノ服役ニ堪フル者ハ一等陸軍工

長ニ任ス

第三十七條 前條ニ規定スル豫備役又ハ國民

兵役ニ入リタル者ヲ豫備役士官ニ任スルニ

ハ勤務演習ニ之ヲ召集スルコトヲ要ス其ノ

期間ハ四月トス

第三十九條 第三十七條ノ勤務演習ニ應召シタル者ニ對シテハ其ノ終ニ於テ期末試験ヲ行ヒ其ノ成績ト平素ニ於ケル勤務ノ成績トヲ參照シテ及第ヲ決定ス

第五十八條 現役看護卒及磨工卒ハ左ニ掲ク ル者ヲ以テ之ヲ補充ス	第六章 現役軍長上等兵、看護卒、磨工 卒及樂手補ノ補充
一 在營上等看護卒ニ在リテハ概半四月間 在營シタル歩、騎、砲、工、樂軍長科ノ初 年兵ニシテ概ネ八月間看護學ヲ習得シ タル者但シ對馬警備隊ニ於チハ其ノ各 期間ヲ半減ス	第五十七條 現役憲兵上等兵ハ歩、騎、砲、工、 樂軍長科ノ中一年以上在營シ年齡二十 年以上ノ品行方正志操確實ナル者ニシテ 憲兵ヲ志願シ三月以上憲兵上等兵ノ勤務ニ 必要ナル學術ヲ習得シ補充検査ニ合格シタ ル者ヲ以テ之ヲ補充ス
二 病院附二等看護卒及二等磨工卒ニ在リ テハ其ノ所在地ノ歩兵監督ノ官員ノ官場 等ノ初年兵ニシテ概ネ四月間看營シタル 者	第五十五條 前條ノ補充ハ戰時又ハ事變ノ際 ニ限り之ヲ爲ス但シ平時ノ體操演習ニ於テ 兵科部ノ變更ヲ要スル者ハ之ヲ當該兵科 部ニ轉セシム
三 現役豫備後備役補充兵役ノ上級兵、 上等磨工卒、上等磨工卒、上等看護卒又 ハ上等磨工卒	第五十四條 各兵科部豫備後備役下士ハ各 兵科部下士適任證書ヲ有スル兵卒ヲ以テ之 ノ補充ス
四 現役豫備後備役補充兵卒ニ於テ修業シタル 者ニシテ磨工長タルノ技能ヲ有スル 者	第五十三條 現役後備役、磨工長モシテ現役滿 期後二年以内ニ現役ヲ志願スル者

第七十二條 勤員ヲ行ヒタル部隊ニ於チハ上  
等看護卒又ハ上等磨工卒ハ概ネ二月間看營  
シタル兵卒ニシテ概ネ四月間看營學又ハ磨  
工術ヲ修シタル者ヲ以テ、二等看護卒又ハ  
二等磨工卒ハ概ネ一月間看營シタル兵卒ヲ以  
テ之ヲ補充スルコトヲ得

第五十九條 下士ハ左ニ掲タル者ヲ以テ之ヲ  
補充スルコトヲ得  
一 年兵ニシテ四月以上在營シタル  
者  
二 現役豫備後備役補充兵役ノ上級兵、  
上等磨工卒、上等磨工卒、上等看護卒又  
ハ上等磨工卒

三 磨工長候補者ニシテ概ネ六月以上陸  
軍歌舞學院ニ於テ修業シタル者  
四 現役豫備後備役、上等兵タル磨工卒  
ニシテ磨工長タルノ技能ヲ有スル  
者



● 戰時事變ノ際ニ於ケル士官候補生教育ニ關スル件

明治三十七年四月十四日

勅令第百五十五號

朕戰時又ハ事變ニ際シ將校ノ補充上必

要アルトキハ陸軍大臣ハ陸軍補充條例第十

條第二項ノ規定ニ拘テ士官候補生ヲ士官

學校ニ入校シメ及士官學校生徒ノ修學期

ヲ變更スルコトヲ得

第二條 前條ニ依リ士官學校ニ入校セシメタ

ル者ハ入校後校長ニ於テ陸軍補充條例第十

六條ノ規定ニ準シ其ノ階級ヲ與ヘ又ハ之ヲ

進ムルコトヲ得

陸普第 六六〇號

陸軍補充令中改正ノ件

大正十二年二月廿七日

陸軍大臣

山

梨

牛

造

内閣總理大臣男爵 加藤 友三郎 殿

陸軍補充令中別紙勅令案ノ通改正相成度理由書ヲ具シ閣議ヲ請フ

朕陸軍補充令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

攝政名

大正十二年三月三日

内閣總理大臣  
陸軍大臣

勅令第八十九號

陸軍補充令中左ノ通改正ス

第一條中「省護卒、磨工卒」ヲ削ル

第八條ニ 戰時又ハ事變ニ際シ將校ノ補充上必要アルトキ

ハ第六條及前、條ノ規定ニ拘ラズ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依  
リ士官候補生ヲ陸軍士官學校本科ニ入學セシムルコトヲ

得此ノ場合ニ於テハ第七條ノ規定ヲ準用ス

第十四條ノ二中「實役停年二年以上ノ」ヲ削ル

第十五條中「各兵科憲兵科若ハ經理部ノ准士官下士」ヲ「各兵科

部准士官下士」ニ改ム

第十六條中「各兵科憲兵科及經理部ノ准士官下士」ヲ「各兵科部

准士官下士」ニ改ム

第十八條中「各兵科憲兵科准士官、曹長及經理部准士官、下士一等計行  
工長」ヲ「現役ノ各兵科部准士官、曹長及之ト同等官タル砲、工兵諸工長

並曹長相當官」ニ、「所管經理部長」ヲ「所管經理部長、軍醫部

長若ハ獸醫部長」ニ改ム

第二十九條中「茲豫科三年本科三年以上ノ醫學專門學校ヲ卒業シタル者」ヲ削ル

第三十條ノ二中「實役停年二年以上ノ」ヲ削ル

又ハ又ハ「又ハ」ニ改ム

第三十一條中「又ハ又ハ」ノ下ニ「又ハ上等蹄鐵工長ニシテ三等獸醫ニ任セラルノ資格ヲ具フル者」ヲ加フ

第三十二條第四號中「若ハ陸軍獸醫部准士官下士ニシテ」ヲ削ル

第三十五條ノ二 三等獸醫候補者ハ陸軍獸醫部派遺學生トシテ

實業學校令ニ依ル獸醫學校ノ課程ヲ卒業シタル者ヲ以テ

之ニ充ツ

獸醫部派遺學生ハ現役ノ上等蹄鐵工長中身體強健人格成績共ニ優秀且家庭良好ナル者ニシテ所管獸醫部長ノ選拔シタル者ノ中ヨリ試験ノ上陸軍大臣之ヲ定ム

前項ノ派遺學生試験及修學ニ關スル規則ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第三十五條ノ三 三等獸醫候補者ハ騎、砲、輜重兵隊ニ於テ概モ二

月間獸醫部士官ノ勤務ヲ習得セシム

前項ノ規定ニ依リ獸醫部士官ノ勤務ヲ習得シタル者ヲ獸醫  
部士官ト爲スノ可否ハ第三十四條第一項ノ規定ニ準シ組織  
スル獸醫部士官銓衡會議ニ於テ之ヲ決ス

前項ノ會議ニ於テ可決シタル者ハ三等獸醫ニ任セラルルノ  
資格ヲ具フルモノトス

第三十九條 左一項之力不

前項各其元請駕。及第人者，有其子孫。而其子孫，則多無子孫。故其子孫，亦多無子孫。故其子孫，亦多無子孫。

卷之三  
上等綫靴五  
卒一改人

茲 善工長候補者ニシテ概有三年在營  
ニ於テ必西ナル學術ヲ習得シタル者

第四十八條ノニ 縫、靴工長候補者ハ八月以上在營シタル現役各  
兵科兵卒賓兵上等兵及ニシテ  
輪卒ヲ除ク再服役ヲ志願シ縫、靴工長文  
ルニ適スル者ヨリ採用シ陸軍被服本廠ニ分遣ス

第四十八條ノ三 縫靴工長候補者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ縫靴工長候補者ヲ免ス

軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改悛ノ  
目途ナキ者

二 學術ノ習得不良ニシテ修業ノ目途ナキ者  
三 疾病又ハ傷痍ニ依リ修業ノ目途ナキ者

第五十二條第四號 削

豫備役後備役憲兵科下士、  
上等兵トシテ六年以上現役ニ服シ品行方正志操確實成

前項ノ規定ニ依リ獸醫部士官ノ勤務ヲ習得シタル者ヲ獸醫  
部士官ト爲スノ可否ハ第三十四條第一項ノ規定ニ準シ組織  
スル獸醫部士官銓衡會議ニ於テ之ヲ決ス

前項ノ會議ニ於テ可決シタル者ハ三等獸醫ニ任セラルルノ  
資格ヲ具フルモノトス

第三十九條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ期末試験（附備役）ノ者ハ召集解除ノ際其ノ所  
屬兵科部ニ從上（正）長、一等計手、一等看護長又ハ一等蹄鐵  
工長ニ至ス

第四十八條（一號ヲ左ノ如ク改メ）「上等縫、靴工卒」ヲ「兵  
卒」ニ改ム

一 縫、靴工長候補者ニシテ概（キ）ニ二年在營シ陸軍被服本廠  
ニ於テ必要ナル學術ヲ習得シタル者

第四十八條ノ三 縫、靴工長候補者ニシテ左ノ各號ノニ該當スル者  
ハ縫、靴工長候補者ヲ免ス

ルニ適スル者ヨリ採用シ陸軍被服本廠ニ分遣ス

一 軍紀ヲ柰リ若ハ屢法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改悛ノ  
目途ナキ者

二 學術ノ習得不良ニシテ修業ノ目途ナキ者

三 疾病又ハ傷痍ニ依リ修業ノ目途ナキ者

第五十二條第四號ヲ削ル

第五十六條ノ二

豫備役後備役憲兵科下士ハ、  
上等兵トシテ六年以上現役ニ服シ品行方正志操確實咸

績優秀ナル者ヲ以テ現役滿期、際ニ之ヲ補充スルコトヲ得

第六章 現役憲兵上等兵及樂手補ノ補充

第五十八條 陸軍大臣ハ戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要ニ場合ニ於テハ前條ニ規定シテ習得ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

第六十五條第一項「上等縫工卒、上等靴工卒」ヲ削リ左ノ一號ヲ加フ

三、縫、靴工長候補者ニシテ概ネ六月以上陸軍被服本

、廠ニ於テ修業シタル者

第七十二條 削除

第七十三條 削除

第七十八條ニ左ノ一項ヲ加フ

第四十一條ノ規定ニ依リ少尉同相當官ニ任セラル資格ヲ具フル者其ノ任官前召集セラレタル場合ニ於テハ更ニ見習士官、見習主計、見習醫官、見習藥劑官又ハ見習獸醫官ヲ命シ召集部隊ニ於テ士官ノ勤務ニ服セシム

第八十一条、中「陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ」及「<sup>第</sup>八十二條中「臺灣軍獸醫部長」ヲ削リ「計手」ヲ「經理部下士」改ム」<sup>第</sup>八十二條中「臺灣軍獸醫部長」ヲ「朝鮮軍獸醫部長臺灣軍獸醫部長關東軍獸醫部長」ニ改ム

續優秀ナル者ヲ以テ現役滿期際ヘシラリ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

第六章 現役憲兵上等兵及樂手補ノ補充

第五十八條 陸軍大臣ハ戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要ノ場合ニ於テハ  
其定スル學術習得ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

第六十五條第一項「中上等縫工卒、上等靴工卒」ヲ削リ  
左ノ一號ヲ加フ

三、縫、靴工長候補者ニシテ概ニ六月以上陸軍被服本

、敵ニ於テ修業シタル者

第七十二條 削除

第七十三條 削除

第七十八條ニ左ノ一項ヲ加フ

第四十一條ノ規定ニ依リ少尉同相當官ニ任セラル資格ヲ具  
フル者其ノ任官前召集セラレタル場合ニ於テハ更ニ見習士  
官、見習主計、見習醫官、見習藥劑官又ハ見習獸醫官ヲ命  
シ召集部隊ニ於テ士官ノ勤務ニ服セシム

第八十一条、中、陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ及  
「縫靴工長ニ在リテハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ」及  
第八十二條中「臺灣軍獸醫部長」ヲ「朝鮮軍獸醫部長臺灣軍  
獸醫部長關東軍獸醫部長」ニ改ム

續優秀ナル者ヲ以テ現役滿期際之ヲ補充ス  
ルコトヲ得

第六章 現役憲兵上等兵及樂手補ノ補充  
第五十八條 陸軍大臣ハ戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要ノ場合於テハ  
共定スル學術習早ニ短縮スルコトヲ得

中「上等縫工卒、上等靴工卒」ヲ削リ

、廠ニ於テ修業シタル者

第七十二條 背除  
第十三條 判余

第七十八條ニ左ノ一項ヲ加フ

第四十一条ノ規定ニ依リ少尉同相當官ニ任セラル資格ヲ具  
フル者其ノ任官前召集セラレタル場合ニ於テハ更ニ見習士  
官、見習主計、見習醫薈官、見習藥劑官又ハ見習獸醫官ヲ命  
シ召集部隊ニ於テ士官ノ勤務ニ服セシム

第八十一条、中「陸軍大臣」ノ認可ヲ受ケレ及  
「縫靴工長ニ在リテハ、陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ被服本廠長」ヲ削リ「計手」ヲ經理部下士ニ改ム  
第八十二條中「臺灣軍獸醫部長」ヲ「朝鮮軍獸醫部長、臺灣軍

第八十五條 削除

附則

本令ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正九年勅令第二百四十四號附則第七項ヲ削  
明治三十七年勅令第百十五號ハ之ヲ廢止ス

醫免狀ヲ有ス

ハ舊醫吾「士ミノ之ヲ採用スルコトヲ得

三等獸醫候補者ハ大正十二年及大正十三年ニ限り獸醫免狀ヲ  
有スル現役ノ上等蹄鐵工長中身體強健人格成績共に優秀  
且家業良好ナル者ニシテ所管獸醫部長ノ選拔シタル者ノ中

ヨリ試験ノ上陸軍大臣之ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ試験ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

大正十二年ニ限り左ニ掲タル者ヲ以テ二等看護卒又ハ二等磨工

卒ヲ補充スルコトヲ得

一 隊附看護卒ニ在リテハ概ネ三月間 在營シタル歩、騎、  
砲工、輜重兵科ノ初年兵ニシテ概ネ五月間 看護學ヲ  
習得シタル者

二 病院附看護卒及磨工卒ニ在リテハ其ノ地所在ノ步兵  
聯隊於テハ他ノ軍隊ノ初年兵ニシテ概ネ三月間 在營シタ  
ル者

從前第五十八條第一號、規定、該當スル、各兵科兵卒  
ニシテ大正十一々、軍備整理ニ依リ歸休セシメラレタル者ハ之ヲ  
同等級ノ看護卒ト爲ス

二等看護卒及二等磨工卒ハ戰時又ハ事變ノ際ニ限り、  
概ニ二月在營シタル各兵科二等卒ヲ以テ之ヲ補充スルユ  
トヲ得

第八十五條 削除

附則

見習獸醫官ハ大正十二年及大正十三年ニ限り獸醫免狀ヲ有スル獸醫部下士ヨリ之ヲ採用スルコトヲ得

三等獸醫候補者ハ大正十二年及大正十三年ニ限り獸醫免狀ヲ有スル現役ノ上等蹄鐵工長中身體強健人格成績共優秀且家業良好ナル者ニシテ所管獸醫部長ノ選拔シタル者ノ中ヨリ試験ノ上陸軍大臣之ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ試験ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム  
大正十二年ニ限り左ニ掲タル者ヲ以テ二等看護卒又ハ二等磨工卒ヲ補充スルコトヲ得

一 隊附看護卒ニ在リテハ概末三月間 在營シタル歩、騎、砲工、輜重兵科ノ初年兵ニシテ概末五月間 看護學ヲ習得シタル者

二 病院附看護卒及磨工卒ニ在リテハ其ノ地所在ノ歩兵聯隊於テハ他ノ軍隊ノ初年兵ニシテ概末三月間 在營シタル者

從前第五十八條第一規定、該當スル、  
ニシテ大正十一年以後一併整理ニ依リ歸休セシメラレタル者ハ之ヲ

當分内、  
二等看護卒及二等磨工卒ハ戰時又ハ事變ノ際ニ限り、  
概末二月在營シタル各兵科二等卒ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

理由

上等蹄鐵工長ヲ實業學校令ニ依ル獸醫學校ニ入校セシメ其ノ卒業者ヲ三等獸醫ニ仕スルノ制度ヲ設ケ衛生部兵卒ノ補充制度ヲ廢シ又他ノ制度ノ改正ニ伴フノ外從來實施ノ經驗ニ鑑ミ改正スルノ必要アルニ由ル